

# 予 算 特 別 委 員 会

## 県所有地への流通業誘致への対応、 エコドライブの普及、 信用保証料の納付方法など質疑

**A委員(自民)** 県所有の工

業団地や業務用地に流通業の誘致が相次いでいるが、中心市街地活性化などを考えると工場中心とし、商業は自粛すべきではないか。

**知事** 用地の分譲対象を製造業に限定すると企業立地が進まなくなるため、準工業地域、土地区画整理事業の商業業務地区などは、商業施設を含め幅広く募集し、応募の中から最も進出効果が高い企業を選んでいく。

今後も地元産業・資源との共生といった点に留意しながら進めていきたい。

(ほかに、本県財政の現状・課題と今後の見通し、義務教育の充実も質問)

**B委員(自民)** 現在の二酸化炭素排出量の約二割弱は車から排出されており、特に発進の際に多く排出される。発進を少なくするエコドライブの視点を加えて信号を制御することができないか伺う。

**警察本部長** 委員指摘のとおりエコのためには渋滞を解消する、発進を少なくす

ることが非常に重要。このため、感應式信号機の整備

や右折矢印制御などを行っているが、今後ともエコドライブの視点に十分配慮しながら、交通管制システムの高度化に努めていく。

(ほかに、介護保険財政、県産品ブランド力強化なども質問)

**C委員(自民)** 県信用保証

協会の保証制度により、中小企業が資金調達する際に、信用保証料の分割納付が可能であるが、実際には、一括納付を求められることもある。県としての対応は。

**商工労働部長** 信用保証料は一括徴収を基本とするが、多額の場合、中小企業の負担が大きいため、保証期間が二年を超える資金では分割納付も可能としている。

しかし、十分な取扱いが行われていないことも承知しており、金融機関等に対し一層の周知を図っていく。(ほかに、茨城県と千葉県との連携による新観光ルートなども質問)

**D委員(民主)** 中高一貫教

育について、県立緑岡高校に設置予定だった併設型中学校の平成二十二年四月開校を見送る方針のようだが、見送りとは中止なのか、延期なのか。

**教育長** 水戸以北の中高一貫教育の環境が急激に変化している外的要因と、併設型中学校を設置する費用対

効果を更に検討する必要性が生じた内的要因から、見送りを判断した。正式に決定次第、延期か中止かあらゆる形態を検討する。影響を小さくするため、速やかに結論を出していきたい。

(ほかに、八ッ場ダム事業計画再変更なども質問)

**E委員(自民)** 路線維持の

ために、搭乗率が目標値を下回った場合に航空会社へ保証金を支払うという「搭乗率保証制度」を導入している空港もあるが、茨城空港についても搭乗率の保証をしていくのか。

**知事** 搭乗率保証制度の導

入は、国内線では能登空港、国際線では米子空港の例が

ある。この制度は航空会社誘致の有力な手法の一つだと考える。しかし、茨城空港の場合、搭乗率保証をしなくても、将来的には十分に利用者の確保が可能ではないかと考えている。(ほかに、畜産農家や園芸農家の支援策なども質問)

**F委員(自民)** 立地件数は

増えているものの、県北地域の企業立地は、これからが正念場である。今後の県北地域活性化に向けた取り組みについて、知事の決意を伺う。

**知事** 国道六号バイパス建

設など企業の立地環境の整備を進める。また、J-PA R Cの本格稼働に向け中小企業に利活用を一層働きかけていく。地元のものづくり企業の競争力を高めるとともに日立港を活かし、県北地域全体が元気で活力あふれる地域となるよう全力で取り組む。

(ほかに、ドクターヘリの導入なども質問)



**G委員(公明)** 中心市街地や地域の商店街をどのように活性化するかを含め、今後のまちづくりの展望について知事の所見を伺う。

**知事** 市町村が中心市街地活性化基本計画を策定する際には、県として精一杯支援をしていきたい。また、講習会や講演会の開催、市町村や事業者への気運の醸成を図るなど、必要な支援を行いたい。さらに、市町村への指導、助言、まちづくり交付金事業の活用促進などを通して、中心市街地の活性化に努めたい。

(ほかに、高校の不登校対策と中途退学者の減少策なども質問)

**H委員(自民)** 本県の産科

医数は人口当たり全国第四十一位。院内助産所や助産師外来開設に向けた支援などを含め、医師不足に対応するため助産師の積極的な活用を図ってはどうか。

**保健福祉部長** 国は院内助産所や助産師外来の設置を推進し、今年度から施設設備整備などに助成を始める。県としても周知、活用を図りたい。設置にあたっては、助産師の確保とともに、医師が二十四時間バックアップできる体制も必要。産科医療現場の人材不足の現状などを踏まえ、助産師の有

### ● 質問者

森田 悦男

中山 一生

石田 進

川口 浩

飯塚 秋男

小田木真代

高崎 進

鈴木せつ子

山中たい子

磯崎久喜雄

効活用を推進したい。

(ほかに、有機農業の推進なども質問)

**I委員(共産)** T X沿線の

上河原崎・中西地区区画整理事業では、場外車券場の建設が計画されている。P T Aは白紙撤回の立場である。事業主体の県は、良好な住宅地づくりのため、場外車券場を設置させないとの立場を明確にすべきだ。

**企画部長** 市が進めている都市計画の変更手続きが完了すると、県として排除するのは難しい。しかし、市議会で場外車券場建設反対の請願が継続審査になるなど議論されており、その推移を見守っていきたい。

(ほかに、福祉分野の人材確保や民間保育所支援、オ

オタカ保全なども質問)

**J委員(自民)** 常陸大宮保

健所とひたちなか保健所は同一の二次医療圏にあり、いずれかを本所、もう一方を支所とするとのことであるが、ひたちなかの方が管内人口が多く、常陸那珂港もある。住民サービス等を踏まえ考えるべきだがどうか。

**保健福祉部長** 健診などが市町村に移り、一般の人が保健所を訪れる機会は減った。再編後は、申請受付や相談など住民や事業者に係る仕事を、本所、支所ともに対応するなど、利用者の利便性を損なうことのないよう十分検討する。

(ほかに、知事の四期目の取り組みも質問)